

## 全体会午後部Ⅰ

**司会者** それでは定刻が来たので着席してください。ただ今より、全体会午後部Ⅰを行いたいと思います。午後部Ⅰの司会を担当させていただきます板野中学校3年のu、藍住中学校2年のyです。よろしくおねがいします。午後部は、前半のⅠと後半のⅡの2部構成になっています。最初に意見発表を3本していただき、その内容を通して、みんなで人権について語り合い、みんなで明るい未来に向かっていきたいと思いますので、みなさん、どうぞご協力、よろしくお願いします。



まずは前半1本目の意見発表です。松茂中学校 大家百合奈さん「生きること」です。よろしくお願いします。

### 「生きること」

#### 松茂中学校 3年 大家 百合奈

人権を考えるうえで一番大切なことは、人間の生き方を模索することだと思います。私は、松茂中学校での人権学習や、この中学生集会で、進行性筋ジストロフィーという難病と、日々闘いながら生きる川田優也さんと、そのご家族の生き方について学んで、“生きる”というのは、どのようなことなのかを自分なりに考えてみました。

人権劇「生きる4」の中の、川田優也さんの語りの一部で、「僕には、できないことがいっぱいあるけど、周囲の人がいろいろと力を貸してくれるから、あまり不自由と思っ

たことはない。」「多くの人から、勇気や希望などのエネルギーをもらえる。」というものがありません。人間は、自分一人では生きていけないと思います。



悲しいときや、挫折して、絶望の淵に立たされたとき、すぐに立ち直り、自分一人で、前を向ける人は、そう多くはいないと思います。その人の隣に、声をかける人や手助けをする人など、誰か一人でもいなければ、前を向くための生きるエネルギーは得られないでしょう。

私たちは、日々、人間関係の中でストレスを多かれ少なかれ感じています。すれ違いや誤解、関わるのが苦手な相手、かなわない人に対して感じる劣等感など、このような人間関係のストレスと無縁ではられません。確かに、人間が自然と感じてしまう気持ちをうまくコントロールすることは難しいです。しかし、一人で生きていくというのは、もっと難しいことだと思います。

なぜなら、人にとって一番つらいのは「孤独」や周囲の人たちからの「無視」だと思うからです。人間は自他を想うことによって自己が磨かれ、人間らしい気持ちが生まれるのだと思います。

もし、幼いときからずっと周囲の人と関わっていなかったら、自他を想う気持ちはもちろんのこと、自分を客観的に深く見つめることもできないでしょう。人間は、新たな一歩を踏み出すときに、隣にいる人、つまり、横を見ることによって、前を向けるようになるのだと思います。

また、周りを見ることによって、自分の存在を再確認し、人間らしく“生きる”ことができるのだと思います。つまり、一人の人間の命は多数の恩恵を受け、今、ここに成り立っているのだということです。この“恩恵”というのは、人間による力だけでなく、周りを取り囲む他の生物、地球の自然環境も含んでいると思います。人権を考えると、どうしても人間だけのことのように思ってしまうのですが、私は、決してそうではないと思います。

人間は、地球上で一番知識や技術を習得している存在です。しかし、それは人間の暮らしを豊かにさせる一方で、地球をも破滅させる脅威をもっています。高度な知識や技術をもっている以上、人間にはこの地球を守り、未来に残し続けなければならないという責任があります。人間同士で争っている場合ではないと思います。

私は、この世に生まれてきたのには、理由や使命があると信じ、一人一人が生きがいを持って、胸を張って生きることができる世界をつくるために、人間としてあるべき姿を追究し、生きる意義を見つけていきたいです。

私の今の生きがいは、未来を見据えられることです。私はたくさんの生命に支えられ、今を生かしてもらっています。もともとネガティブだった私が未来を見据えるというポジティブな考え方ができるようになったのも、周囲の人の支えがあったからです。

人間らしい生き方、「共生」をもっと深く学び、考えて、自分の意見をしっかりとつことができるようにしたいです。

**司会者** ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、前半2本目の意見発表です。藍住中学校2年秦一花さん「悪口を言ってはいけない」です。よろしくお願いいたします。

## 「悪口を言ってはいけない」

藍住中学校 2年 秦一花

私は、人の悪口を言うのは許せないことだと思いました。

私には、ふたつの癖があります。ひとつめは、怒ると友達の話も聞かないで、勝手に決めつけてしまうことです。ふたつめは、人の話を確かめもせず、鵜呑みにしてしまうことです。

そのために、大事な友達を失いそうになりました。私は、ある友達から、私の悪口を言っている子がいると聞きました。『悪口を言っている』のは、私が一番信頼している親友だということでした。しかし、私は直接本人には聞かずに、『悪口を言っている』と決めつけてしまいました。そして、その親友とあまり話をしなくなりました。



さらに、私は、信頼した親友に裏切られたと思ったので、親友の悪口ばかり言うようになりました。その時に、親友が私の悪口を言っていると教えてくれた女の子の一人が、嘘の話を作っていたことが分かりました。

私は、その女の子二人にも裏切られたことにすごく悲しくなりました。自分のしたことが許せなくなりました。自分が悪口を言う人になって、その子をいじめている人たちと同じであると気づきました。

本当かどうか、確かめようと、親友に電話をかけました。すると、いつものように優しく話を聞いてくれました。そして、「私の悪口を言ったことなんか一回もない。」と伝えてくれました。私は、親友に対する罪 悪感

ですごく悲しくなりました。

『差別はダメだ。』とか、『人の悪口を言ってはいけない。』とか、学校で聞いて考えていたはずなのに、まったく分かってなかったことに気づきました。本での学習で、『なぜ悪口を言うてしまうのだろう。』と疑問に思っていました。しかし、この体験を通して、少し分かった気がしました。今、すごく後悔しています。人の話を信じる大切さもありませんが、なぜ、鵜呑みにして確認をしなかったのでしょうか。確認もせずに親友の悪口を言っていたのは私なのに、言っていた女の子二人の責任にしていました。しかし、親友と仲直りできたのは、すごく良かったと思っています。

この体験を通して、どんなに腹が立っていても、大事な友達の悪口を言ってはいけないこと、本当かどうか確認すること、先生や友達や家族に相談すること、一回冷静になって、本当にその子が悪口を言う子か考えてみることの大切さを知りました。

私は、大切な大切な友達を失いそうになりました。しかし、今回のことがあり、以前よりずっと、その親友が信頼できるようになりました。

人にとって信じる心は大切です。しかし、鵜呑みにしないことも必要です。そして、悪口は絶対に言ってはいけないと思いました。後で後悔してあやまっても、言っていないことにはなりません。傷つくのは、自分と言われた相手です。自分が傷つくより、相手を傷つけてしまったと思う方が自分の心は痛みません。温かい心を大切にしながら、生活をしていきたいと思えます。

「悪口を言ってはいけない。」自分自身に向かって言います。私は、友達を大切に、悪口を言わないようにしたいです。

**司会者** ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、前半3本目の

意見発表です。大麻中学校2年藤川愛叶さん「初めの一步を」です。よろしくお願いします。

### 「初めの一步を」

大麻中学校 2年 <sup>ふじかわ</sup>藤川 <sup>あくあ</sup>愛叶

「差別は他人事だと思っいてはなくならないんだ。それぞれが自分のことだと思っいて考えないと何も変わらん。」



私は、識字学級に行ったときに聞いたこの言葉がすごく心に響きました。私も初めは、少し他人事のように一步引いたところから差別について考えていました。この言葉を聞いて、差別をなくしていくための「本当に大切なこと」に気づくことができました。

私は人権委員会に入っています。入った理由は、人権問題について、もっと積極的に考えてみたいと思ったからです。学校の道徳の授業では、みんな何が正しいか分かっているから、私も正直に言って綺麗事ばかり言っていました。でも、もっと深く考えないと、その考えを誰かに伝えないと何も変わらないのではないかと思い、人権委員会に入りました。人権委員会の活動には、「人権を語り合う中学生交流集会 実行委員会」という他校の生徒と人権問題や家族のことなど、意見を交わし合う会があります。その実行委員会に、私も初めて参加してみました。そこでは、自分の考えや気持ち、他の人の意見に対してどう思ったかを本音で話し合うことができ、本当に深く学べる機会になりました。他校の生徒とも仲良くなれたし、誰にも話したことがない

ことも話せて心が軽くなりました。私の言葉一つ一つに耳を傾け、自分のことのように考え、思いを伝えてくれる仲間がいました。このような話し合いを重ねることが「本当の仲間づくり」につながるのだと思いました。そして、思いを伝え、行動に移すことがどれだけ大切であるかを、このとき学びました。

六月になり、私たち大麻中学校二年生は識字学級の方々との交流会に参加しました。そこでは、自分の出身を聞かれたときに隠してしまったという体験や、「解放運動を続けていく」という強い意志で識字学級に入ったことなどを、私たちに伝えてくれました。また、代表の中原さんからは、「私たちと一緒に差別と闘う仲間になってください」という言葉をいただきました。私は、私に自分の気持ちを伝えてくれた識字学級の方々の思いを、しっかりとうけて、今度は、自分がこのことを周りに伝えたいと思い、家に帰って母と父に識字学級の話をしました。「行動に移す」ということを実践してみました。初めは、いつもと全然違う会話だったから、少し緊張してうまく言えませんでした。でも、真剣に話を聞いてくれて、差別が今もあることや、どんな差別があるかなどを家族で話し合うことができました。私は、差別に対して両親が偏見を持っていないことを知って、とてもうれしかったです。また、部落差別のことや識字学級がどんな思いで作られ、今も続いているかということについて、伝えることができ、本当に良かったと思いました。

識字学級で聞いた言葉のように、自分自身が差別を受けている側の目線に立って考えることで差別に対する怒りや悲しみ、本当に正しいこと、今やるべきことを深く考えることができました。交流集会実行委員会で、自分がたくさんの人に支えられていることや自分から積極的に言葉にして伝えていくことの大切さを学びました。この二つの体験は、私にとって大きな成長となったと思います。相手

に伝えることはとても難しいです。でも大切なことです。伝えるとき、うまくまとめられなかったり、つまってしまったりしながらも自分の思いや考えを伝えることで相手も真剣に聞いて、本気で考えてくれました。私は今まで、思い、考えるだけで止まっていたけれど、少しずつでも「行動に移す」ということを実践していこうと思います。みんなが行動に移していくことで部落差別やさまざまな人権問題、偏見をもった人たちの考えを変えていきたいです。中途半端な気持ちではなく、自分が「本気で差別をなくしていこう」と思うことから始めようと思います。何が正しいか自分で考えて判断し、間違った考えに対しては、「それはおかしいと思う。私は、そうは思わない。」と、はっきり言える人間になりたいです。勇気を出して、自分から差別をなくしていく行動を、「初めの一步」を踏み出します。

**司会者** ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。また、マイク係として、大麻中学校2年のzさん、大麻中学校2年のa aさんの2人がフロアをまわります。なお記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしく願います。



高浜中学校 1年 a b 「悪口を言ってはい

けない」という作文を聞いて、私は作文にあった「うのみにする」という癖は自分にもあると思います。私は、みんなから言われたことを聞いて、こうだと決めつけていました。でもある時その人としゃべってみると、みんなから聞いていたような性格ではありませんでした。その話を聞いて、うのみにせず確認していきたいです。また、悪口を言うと、自分も相手も傷つけるということが改めてわかりました。これからは、自分が発する言葉と言う前に考え人が傷つかないようにしていきたいと思いました。

**屋島中学校 3年 a c** 「生きること」の感想ですが、一日でいろんな人とコミュニケーションを取って生きていることがわかりました。日常であたりまえだと思っていたけど、人と関わることで自分は生きていることを改めて実感しました。これから毎日人と関わることで、自分はどのようなふうに変化するか考えていきたいです。



**大麻中学校 2年 s** 藤川さんの作文を聞いて、ぼくも、最初は他人事と思い、口だけで差別はあかんと言っていました。識字学級との交流で他人事ではないと思いました。交流の後、親とも話し合いました。これからは差別やいじめについて真剣に考えたいです。

**内浦中学校 2年 p** 「初めの一步を」を読んで、私は小学校の時サッカーをしていて、私が女の子1人ということでもわりの子から差別を受けました。その時は、人権の学習を

受けてなかったの、女性差別があったことを知らなかったのですが、その時に、今思えば、女性差別だったのかなと思います。行動に移すことがなかったの、一方的に言われてサッカーをやめました。行動に移すことをしていたら続けられていたかなと思います。行動に移すことをこれからも大切にしていきたいです。



**高浜中学校 1年 a d** 「悪口を言っはいけない」を読んで、私は低学年の頃、友達に強くあたっていました。友達を信用していなかった時があったので、その作文を読んで、人の話を信じたいと思いました。

**内浦中学校 1年 v** 「初めの一步を」という藤川さんの作文を読んで、私も差別を他人事と思っていた時期がありました。差別を受けている人の気持ちがわかるということも大切だと思いました。また、自分の考えを言うことが苦手なので、何が正しいのかだめなのか、だめなことをだめとはっきり言えるようになりたいです。

**城ノ内中学校 2年 a e** 「悪口を言っはいけない」という作文で、僕は、人のことをあまり信じていないと思いました。うのみにするのはいけないけど、適度に人を信じていきたいと思いました。

**城ノ内中学校 3年 a f** 僕は悪口を言わないのはあまりよくないと思います。悪口を言わずに我慢したら、いつかは耐えきれなくな

って爆発してしまうからです。悪口を言う人を考えればいいと思います。例えば、親に言ったり、信頼できる友達をつくってその子に話を聞いてもらったりするといいと思います。自分自身だけで抱え込まず、他の人を頼りながらやっていったらいいと思います。

**城ノ内中学校 3年 a g a f** くと違って、悪口は言うてはいけないと思います。親でも聞くのはいやと思うし、一方的な考えが入ってきたらこの子はこうなんじゃと思ってしまいます。悪口を言う代わりに違ったストレスの発散方法を考えることが大事だと思いました。



**城ノ内中学校 2年 a e** 悪口を言ってもいいんじゃないかという意見があったんですけど、僕はそれには反対です。悪口を言ったとして、ずっと続くとストレスがたまります。本人に伝えて改善してもらうことが大事だと思います。

**内浦中学校 2年 p** さっきの意見について私も言いたかったんですけど、悪口は一方的にその人に対して気持ち悪いとか、ストレスを発散するより、こちらが一方的に悪いことを言っていると思います。悪口を言うのは、その人がそんなことをしていないのにとか、その人が本当はそうではないのに、一方的に悪いことを言うことなので、言うてはいけないことだと思います。

**鳴門高校 2年 a h** さっきまで意見が出て

いた「悪口は言うてはいけない」という作文についてなんですけど、悪口って言うにも言われるにも捉え方の問題があると思うんです。悪口って悪意があって言っているのを聞くのは不快感があります。愛情をもってこの人ってどうなんかなと言われてたら気が楽になるというか・・・、自分の悪いところってなかなか気づけないところってあると思うんですよ。だから、悪いところを指摘してもらえたら、その分直そうって思えると思うんですけど・・・陰口となると悪い方へ悪い方へ流れていって、自分の嫌な捉え方をしてしまったりして・・・、悪口自体はそんなに悪いことではないかもしれないけど、でも、人伝いで聞いたりすると、思っていることがちゃんと伝わらなかつたりすることがあると思うので・・・、この人のこういうことが嫌だというのは、人それぞれだと思うんです。私の場合だったら、この人とあんまり合わんなと思っても、自分がそう思うだけで、その人が悪いかどうかというのは別のことじゃないですか。だから、悪口を言うにしてもどこをどう直したらいいか本人に伝えていったら悪口はなくなると思います。みなさんはどう思いますか。

**藍住中学校 2年 a i** 僕はさっきの意見に対して、悪口はコミュニケーションだと言ってもいいと思います。なぜなら、僕は仲がいい友達と悪口を言い合っても仲が悪くならないからです。それに、人間は、悪口を言わなかったらストレスをためこんでしまうと思うからです。

**高浜中学校 1年 a b** さっき言ってくれた悪口はコミュニケーションというのは、仲良しの子とだけ通じるコミュニケーションであって、まだあんまり話をしたことがない友達とはあんまり通じ合えないやり方だと思いました。ちょっと前にテレビで芸能人が「我慢

の設定」ということを言っていました。何でもかんでも悪いことを言うのではなく、言うところは言う、言わないところは言わないのがいいという設定が私自身共感しました。



**板野中学校 3年 u** さっきから結構長い間悪口について話し合っているんですけど、悪口にも種類があって、愚痴<sup>ぐち</sup>るといふ悪口と相談みたいな悪口があると思います。ここにいる人の個人個人の悪口（の定義）が違うと思います。私は、愚痴<sup>ぐち</sup>る感じの悪口は言わないほうがいいと思うし、相談は家族や仲良しの子には言ってもいいかなと思います。

**屋島中学校 3年 a j** 私は、思ったことを口にして人を傷つけやすいです。そんなつもりがなくても知らない間に人を傷つけてしまいます。先ほどあったように、はっきり言うことでアドバイスに変えていって、人を傷つけるのではなくて、改善してもらおうようにしていけたらいいなと思いました。

**屋島中学校 3年 a k** 「差別はだめ」「悪口はだめ」と人聞きの良いことを言っているのは表の心。ぜったいに悪口は言ってしまう裏の心があると思います。裏の心が通じ合えば悪口はなくなっていくと思いました。

**中山中学校 1年 a l** 「悪口を言ってはいけない」で、たしかに友達どうしの冗談を入れた悪口は仲の悪い人には通じないと思うけど、自分の悪いところは言われないとわからないから、悪口もコミュニケーションの一つ

に入れていいと思います。

**中山中学校 2年 a o** 「悪口を言ってはいけない」の文章中にあった「人の悪口を言ってはいけない」で、本人に言うなら悪口ではなくアドバイスになると思うけど、他の人に言うのはれっきとした悪口や陰口で、本人を傷つけることになってしまうので、本人にアドバイスとして言うのは、言っていると思う。

**中山中学校 1年 a p** 普通に人に悪口を言うより、インターネットを使って悪口を言うのはよっぽどいけないと思うので、言うのだったら、本人に良い言い方をして言っているのが、悪口にならないと思います。

**城ノ内中学校 3年 a f** さっき悪口を言わないとストレスがたまるという意見がありましたが、悪口を言わないとストレスがたまるつらさより、悪口を言われるつらさの方が大きいので、誰が一番つらいのか考えることが大切だと思いました。



**土庄中学校 3年 a q** 私は、悪口は本人に言うべきだと思います。そうすればきちんとアドバイスになるからいいと思います。私は人の悪口を聞くことがあります。聞いた時に、本人に言ったらいいんじゃないかと言います。でも、本人には「ちょっと」と言って、いつも言っていないです。私はそれに、陰口を言っているのもよく聞きます。相手に聞こえるか聞こえないぐらいの声の大きさで言うことがあります。自分のことかなと思ったこと

もあって、とてもつらかったです。だから、そういうのがあるのだったら、きちんと本人に言って欲しいです。

**板野中学校 3年 u** 私も悪口を言ってしまいう時があつて、めっちゃ言ってしまった時は後悔するんですけど、どこからか悪口になるのか、どこからかが相談になるのか答えられる人お願いします。

**屋島中学校 3年 t** 相手に伝えるときに、暴言で伝えると受け入れにくい。自分が言われて嫌じゃない言葉で言うと、相手もアドバイスとして受け入れやすくなるんじゃないかと思います。

**松茂中学校 3年 a** さっきから悪口の話になっていると思うんですけど、悪口は一方的に言うものだと思います。本当に一つの意見として言うのであれば、悪口とは言わないと思います。また、その意見を一方的に言うのではなく、対等に対話できる関係をつくるのが大事なんだと思います。



**パネリスト j** 聞いていて思ったことを言いたいと思います。まず、悪口が助言か、人のことを思って悪口を伝えるっていうのはいいんじゃないかという意見があつたような気がするんですけど、私はそれを聞いていて思いついたんですけど、去年、LINEで「気を遣いすぎてうっとうしい」と書かれたことがあります。それは私にとつたらすごいショックで、あまりにもショック過ぎて、徳島に

帰りたくないぐらいショックでした。短期留学が決まっています、そのグループラインがあつて、その最後に、「いちいち気を遣いすぎてうっとうしい」というラインがきたんです。相手にとっては、指摘だったのかもしれませんが。けれど、私にとって結構しんどいことでした。悪口が相手のことを思って言っていることでも、それを悪口と取るかどうかは、受け手の取り方によると思います。だから、そのことをちょっと考えてほしいです。すごくがんばって考えた意見なんだけど、もしかして相手を思って言っていることでも、相手にとって傷つく悪口になるかもしれない。あともう一つ、悪口を言わない人間は、個人的に信用される。社会経験で、悪口を言う人は、裏でも言うんだろかなとなんとなく思うし。この人には言わんとこと思うようになります。自分を守るために愚痴を言うことはもちろん大事だけど、愚痴を言わないで自分で消化できたり、それで、自分がしんどくならあかんのやけど、愚痴を言わない人間は、人として信用されると思います。

**藍住中学校 教員** 話す内容によると思います。いくら仲の良い友達でも、「おまえきもつ、うざっ。」とか、身体的な特徴など、本人には直しようがないことを言われたら指摘されてもつらいこととしか受け取れないと思います。相手が嫌だな、傷つくなと思うことはいくら相手が仲の良い人でも言わない方がいいと私は思います。

**屋島中学校 3年 a j** 悪口はストレス発散になるかもしれませんが、ストレス発散は他でもできる、人を傷つけないでもできるストレスの発散の仕方があると思います。もし、悪口を言ってしまつても、そのあとにちゃんとあやまって、傷つけてしまったことに「ごめんね」と言ったら解決するかもしれないと思います。



**屋島中学校 3年 ar** さっき相手を傷つけたらあやまるという意見が出たんですけど、メールやインターネットだと指摘されたとしても傷つけたことがわからない。本人に直接会って、相手の顔を見ながら直接アドバイスをしたらいいと思います。

**内浦中学校 3年 p** 悪口とアドバイスの違いをちゃんとわかるようになりたい。アドバイスは、相手によくなってもらうために自分がちゃんとした意見をもって言うこと。悪口は、相手にちょっと言われたことなど小さなことだけど、悪いことを自分の一方的な意見として押しつけること。相手のことを思っていないで言うのは悪口だと思います。



**城東高校 2年 r** 悪口とアドバイスのちがいは、裏でその人がいないときに言うと悪口になると思います。直してほしいところがあって言うのでも、その人が傷つくのであればアドバイスじゃない気がします。こういうことを言われて傷ついたから、直してほしいというような言い方をすれば相手に丸く伝わるのでは。jさんのLINEの話で、「気を遣いすぎてうっとうしい」という話も、私が相談を受けたなら「気を遣わなくていいよ。」という意味を含んでいるのではないかと友達に言うと思います。でも、自分が受けた当事者だったとしたら、頭が真っ白になってしまうかもしれないかも。直接会って言うのならいいけど、LINEとか、顔が見えない場合は、アドバイスするときは気を遣わなくてはいけ

ないと思います。

**高浜中学校 1年 ad j**さんの話で、強く言われて傷ついたという話があったけど、私も強く言ってしまうことがあるので、言う方ももっと優しく言う方法を見つけられたらいいと思いました。

**松茂中学校 3年 o** アドバイスでも、その人がよかれと思ってやっていることを否定すると傷つくと思います。良くないところも含めて、その人の個性と思って受け止めたらいんじゃないかと思いました。

**名和中学校 1年 as** 個性と思って受け止めればいい、というのはストレスがたまっていつか爆発してしまうかもしれないので、受け止められないかなと思いました。

**高浜中学校 1年 at** よかれと思って指摘したことが、その人にとって傷つく、いやだと思える人もあるので、「それはちょっとどうかな？」というのも大事だと思います。

**名和中学校 1年 au** 私は仲のいい友人に「デブ」と言ってしまうと、でも、その人はデブではなくて。言われた人がどう思っているか気になるし、悪いことを言ってしまったと思うので、悪口は言うてはいけないと思いました。



**名和中学校 1年 av** 「気を遣いすぎてうっとうしい」で、相手が普通に「気を遣わな

くていいよ」というアドバイスじゃないかな  
と思いました。

**大麻中学校 2年 a a** LINE とかで、絵文  
字とか使わずに短文で会話していると、「何で  
怒ってるの?」と言われたことがあります。  
自分が悪口だと思ってなくてもそう思われる  
ことや、相手が悪口だと思ってなくても悪口  
に聞こえることもあるので、ちゃんと考えて  
優しく伝えていけばいいと思いました。

**板野中学校 3年 u** 「気を遣いすぎてうっ  
とうしい」も、(笑)とかつけとけば、自分  
のことを考えてくれていると思うけど、何も  
なしで送られたきたら、怒っているのかなと  
思うし、ネットとか SNS など、裏でやる  
のはいけないことだと思います。

**藍住中学校 2年 e** 悪口を言うとき、相手  
に共感してほしいという気持ちがあると思う  
けど、聞く方もいやな気持ちになるし、どん  
な理由があってもダメじゃないかと思いま  
す。

**内浦中学校 2年 a w** jさんが言ってい  
た、自分が一生懸命考えたことでも、相手  
がいやに思ったり、傷ついたりすることがある  
というのは私も同感で、ならどうしたらいい  
のか。LINE など、見えないところで言うの  
ではなく、相手と直接会って、言葉を選んで  
言えば傷つかずにいくと思います。

**内浦中学校 1年 v** アドバイスとかをする  
ときは、ちゃんと面と向かってする方がいい  
と思います。相手が傷つくような言い方でな  
く、具体的に直して欲しいところを言うと、  
言われた人も自分のダメなところが分かるの  
では。ネットとかではなくてちゃんと面と向  
かって言うと、相手のためにも自分のためにも  
なると思います。

**和光中学校 3年 a x** 私も悪口を言ってい  
るのを聞くけど、直してほしいことを直接言  
わないで、悪口だけ言っている人の気持ちが  
分かりません。私も悪口を言うけど、直して  
欲しいところは言うように心がけてはいま  
す。裏で悪口を言って、表では仲良くしてい  
る人の気持ちが分からないので教えてほしい  
です。

**内浦中学校 2年 p** さっきの意見に対して  
ではないけど、人には悪いところもいいとこ  
ろもあると思うので、本当に仲がいい友人な  
ら、定期的に良いところや直したらいいとこ  
ろを言い合ったら陰で言うことがなくなるん  
じゃないかと思います。



**屋島中学校 3年 a y** 私も人にきつく言っ  
てしまうことがあり、後で後悔してしまいま  
す。私もjさんが言っていたように、受けと  
る側の問題だと思います。優しく言っても受  
けとる側が悪口だと思ったら悪口だと思いま  
す。だからその人に合った言葉を選んで言  
いたい。

**司会者** さっきの質問に答えられる人いません  
か?パネリストのみなさんはどうですか?

**大麻中学校 2年 s** 僕も前は友達が悪口ば  
かり言っていて、人の言うことを鵜呑みにし  
てしまうことがあったけど、今はそういうこ  
とが少なくなりました。それぞれで自分を振  
り返ってみてください。

**パネリスト j** さっきの質問は「仲がいいけど裏で陰口を言う人の気持ちがわからない。」という解釈でいい？

**和光中学校 3年 ax** 表では仲がいいふりしているのに、アドバイスとかも言わずに悪口だけ言うのが分からなくて質問しました。

**パネリスト j** OK です。パネリストなのに申し訳ないけど、私もその人の気持ちがすごくわかるんよ。私も直接言えずに陰で仲間を見つけて悪口を言ってます。その子に直接言って関係が壊れて、居場所を失ってしまうのが怖いので、直接言えないという感じです。

**松茂中学校 3年 az** 私の考えですが、悪口は人に共感を得るために使っているのではないかと思います。「私はこれでいいよね？」という意味で使っているのでは。悪口は何のために言うのか、みなさんに聞きたいです。

**松茂中学校 3年 b az** さんの質問に対してですが、私の友人がよく悪口を言うけど、人の悪口を言って自分がその人より上と認識したいのだと思います。



**大麻中学校 2年 aa** 自分と合わないなど思う相手に、相手の悪いところを分かってもらいたいけど、つきつくってしまうのではないかと思います。

**屋島中学校 3年 aj** 悪口は自分を守るた

めに、相手を傷つけて自分がいじめられないようにするというのもあるのでは。

**板野中学校 3年 ba** 友達と話したいときに、ネタが尽きてしまったら、悪口で盛り上がろうということだと思います。

**土庄中学校 2年 x** 自分でも気付かずに、人から共感を得たいから悪口を言ってるんだと思います。

**司会者** もうすぐ終わりですが、言っておきたいことがある人は言ってください。

**司会者** ここで、高浜中学校と内浦中学校のみなさんが帰ることになるので、あいさつをもって拍手で送りたいと思います。

**高浜中学校** 先に帰らせていただきます。昨日今日といい経験をさせていただいたので、これからの学習に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

**司会者** これで午後の部Iを終了し、10分の休憩を取りたいと思います。

